

自動車整備科・一級自動車工学科・ 国際自動車整備科			2025年		授業計画	
時 期	1年B巡	単元	実習	教科名	1 B_ブレーキ分解組立	
科 目	自動車整備作業	教科書等 持参品	自動車整備士三級（総合） 実習ノート		発行日	2025.4.1
総時限	24時限				教科担当	
必要時限	24時限					
指導教員の実務経験 該当 非該当						
自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの分解、組立、点検等について指導する。						
教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）						
①ブレーキ装置の構造、機能を理解し、構成部品を覚える。 ②ブレーキ装置の重要性を理解し、確実な作業をする。 ③ブレーキ装置の分解、組立が正確に出来る。 ④ブレーキ装置の調整が正確に出来る。						
授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）						
①ブレーキ装置の構造、作動を理解し、構成部品を覚えることが出来る。 ②ディスクパッド、ブレーキシューの着脱作業が、規定時間内で正確に出来るようになる。 ③ドラムブレーキにて、適正なブレーキシュークリアランス付近までブレーキ仮調整が出来るようになる。 ④マスタシリンダの脱着及び、分解組立が出来るようになる。 ⑤ブレーキキャリパのインナシール交換作業が出来るようになる。 ⑥ホイールシリンダの脱着及び分解組立、カップ交換が出来るようになる。 ⑦ブレーキのエア抜きが確実、迅速に出来、良否の判断及び調整が出来るようになる。						
学習評価（期末試験での主な試験項目）						
1）履修試験での学習評価 筆記試験 1 0 0 点にて評価する。 整備科、S P M科 6 0 点以上で合格、工学科 7 0 点以上で合格。 2）出題試験項目 ①ディスクブレーキ及びドラムブレーキ部品名称。 ②ディスクブレーキ着脱作業。 ③ドラムブレーキ着脱作業。 ④カップ交換						
準備学習						
事前に次の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。 実習ノートをもとにテキストを用い、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。						

自動車整備科・一級自動車工学科・ 国際自動車整備科					2025年	授業計画
時 期	1年B巡	単元	学科	教科名	1B_ブレーキ分解組立	
授業概要（時限ごとの主な授業内容）					教科書、資料、備品類	
時限	主な授業内容				資料、備品類	数量
1	導入	ブレーキの構成、座学			三級自動車整備士（総合） 実習ノート	
2	導入	ブレーキの構成、座学			作業台大（黒） ステンレスパーツスタンド	10 20
3	ブレーキ整備	ブレーキパッド交換作業			ディスクブレーキユニット（K12用） ドラムブレーキユニット（K12用）	10 10
4	ブレーキ整備	ブレーキパッド、スライドピングリスアップ			ディスクブレーキユニット（C11用） ドラムブレーキユニット（C11用）	10 10
5	ブレーキ整備	キャリパ・インナシール交換作業			マスタシリンダユニット(C11用) ブレーキアジャストレンチ	10 20
6	ブレーキ整備	キャリパ・インナシール交換作業			トルクレンチ（46Nm） トルクレンチ（140Nm）	10 10
7	ブレーキ整備	キャリパ・インナシール交換作業			S字フック エアガン	20 5
8	ブレーキ整備	キャリパ・インナシール交換作業			エアホース ブレーキグリス（各種）	5
9	ブレーキ整備	ドラムブレーキユニット分解			木片等 消耗品	
10	ブレーキ整備	ドラムブレーキグリスアップ作業			キャリパインナーキット Rカップ	10 人数分
11	ブレーキ整備	ドラムブレーキ分解組立習熟			ホイールシリンダブーツ マスタシリンダインナーピストン留め	人数分 40
12	ブレーキ整備	ドラムブレーキ分解組立習熟				
13	ブレーキ整備	ドラムブレーキ分解組立習熟				
14	ブレーキ整備	ドラムブレーキ分解組立習熟				
15	ブレーキ整備	Rカップ交換				
16	ブレーキ整備	Rカップ交換				
17	ブレーキ整備	マスタシリンダ脱着、分解組立				
18	ブレーキ整備	マスタシリンダ脱着、分解組立				
19	ブレーキ整備	エア抜き作業				
20	ブレーキ整備	エア抜き作業				
21	実技試験	実技試験				
22	実技試験	実技試験				
23	筆記試験	筆記試験				
24	片付け	レポートまとめ、片付け				